

No.8-7

【エッセイ】 勇気

私は、福祉科に入ってからより普段の生活の中で福祉を見つけることが多くなりました。以前までは、全く知らなかったわけではないですが、学ぶことによりこの世の中には福祉で溢れていることに気が付きました。建物や自動販売機、食器などもバリアフリーとなっています。

福祉とは物や設備だけでなく、助けたり助けられたりと、人を幸せにすることも福祉です。私は人と関わることが苦手で電車や道などで、そのような場面になると断られないか、迷惑にならないかと余計な心配ばかりして実践することができませんでした。

ある日の部活帰り、今までの私の考えを変えた出来事がありました。いつものように、自転車で乗り帰っていると大粒の雨が降り始めました。その日はカッパを持っておらず、早く帰ることを考えていました。いつの間にか小雨が大雨となり、全身びちょびちょになる程でした。嫌だ、最悪だと考えながら信号待ちをしていると、視界がクリアになりました。「急な雨で大変だね。少しの間だけど役に立てたら嬉しいな。」と隣から聞こえました。急なことで驚きましたが、その方は私に傘を差しタオルを渡してくれました。その方は日本人ではなくアジア系外国人で、慣れない日本語で名も知らない私を助けてくれました。

傘を差された瞬間は、戸惑いや驚きがありましたが徐々に嬉しさと感謝の気持ちがこみ上げてきました。

助けられるとはどのようなことか、どういう気持ちになれるのか学ぶことができました。個人的には、嫌な思いや困ることはなく、むしろありがたく思いました。

何事にも、する側される側を体験することにより、これからの学びや生活に生かすことができると感じたし、この幸せな気持ちを、たくさんの人に共有したいと強く思いました。誰かの勇気が幸せに繋がり幸せを共有することにより、世の中がありがたいで包まれていくことが、福祉であることを実感できました。

もう一度その方に会えるなら

「ありがとうございます。」と、そして

「あなたから勇気をもらえました。」と、伝えたいです。